

10款 教育費 1項 教育総務費

(単位:千円)

小学校35人学級体制整備事業(事務局総務費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,801					3,801	
事業総額 3,801,428円 <b>【施策の目的】</b> 確実な学習習慣、生活習慣の定着、基礎的・基本的な学力の定着及び一人ひとりに応じた教育を充実するため、市独自の教員を配置し35人学級に取り組む。						
<b>【施策の実施】</b> 小学校2年生において取組み小郡小学校に1名配置。						
<b>【施策額の内訳】</b> 少人数指導体制整備特別教員 (1名) 3,801,428円						
<b>【施策の効果】</b> 35人学級を編成したことで、各学級における児童一人ひとりの学習や生活習慣の定着により細やかな対応ができた。						
外国語指導助手配置事業(事務局総務費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,157					12,157	
事業総額 12,157千円 <b>【施策の目的】</b> 国際化が進展する中で、児童、生徒が他国の言語や文化に対する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を養うため、ALTを小・中学校へ配置し、英語活動等の授業補助を行う。						
<b>【施策の実施】</b> 民間ALT4名により市内小・中学校の授業補助を実施。						
<b>【施策額の内訳】</b> 委託料 12,157千円						
<b>【施策の効果】</b> ALTを配置することにより、児童・生徒の他国理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上に資することができた。						
教育相談事業(教育相談推進費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,980					3,980	
事業総額 3,980千円 <b>【施策の目的】</b> 児童、生徒の不登校をはじめとする相談に対応するため、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置する。						
<b>【施策の実施】</b> ・スクールカウンセラー 小郡市教育センターに配置し、必要に応じて学校へ派遣 ・スクールソーシャルワーカー 全小・中学校を2グループに分け、各担当校の要請に応じて対応						
<b>【施策額の内訳】</b> ・スクールカウンセラー 770千円 ・スクールソーシャルワーカー 3,210千円						
<b>【施策の効果】</b> スクールカウンセラーに加えスクールソーシャルワーカーを配置することにより、相談等に対し、より丁寧な対応が可能となった。						

コミュニティ・スクール調査研究事業

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
410	410				

【施策の目的】

学校・家庭・地域が一体となり、協働して学校づくりを行う学校運営協議会について、組織・運営体制づくり及び具体的な取組の企画・推進・評価の調査研究を行う。

【施策の実施】

のぞみが丘小学校、三国中学校をコミュニティ・スクールとして指定し、学校・家庭・地域から委員を選出し、学校運営協議会を組織した。会議を行い、協議会の運営体制づくりや、学校運営における学校・家庭・地域それぞれの役割について共通理解を図った。

【施策額の内訳】

(単位:千円)

項目	金額
報酬	224
旅費	11
消耗品費	71
印刷製本費	104
合計	410

【施策の効果】

- ① のぞみが丘小学校における学校運営協議会制度の導入について、制度の理解が進むとともに、本市におけるコミュニティ・スクールの方向性が明確になった。
- ② 三国中学校における学校運営協議会制度の導入について、先進事例を収集し、教職員・保護者・地域住民への意義の周知を図るとともに学校運営協議会の組織・運営体制づくりに生かすことができた。

学び場支援事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,347					10,347

【施策の目的】

いきいきとした子どもたちの姿を大切に、子どもたちが将来の進路保障につながる「生きる」力として、基礎学力と自学自習の力を身につけることを目的とする。

【施策の実施】

参加者〈前・後期〉 小郡小109名・御原小123名・味坂小72名・大原小66名  
 東野小65名・立石小18名・三国小30名・のぞみが丘小43名・小郡中61名  
 宝城中64名・大原中80名・立石中80名・三国中125名 合計 936名  
 開催日 小学校(BBクラブ)週2回  
 中学校(チューター)学校により学校内にて週1~2回・考査前・長期休業中  
 市内施設において土曜チューター  
 指導者 教職員17名・小学校(サポーター100名、コーディネーター9名)  
 中学校チューター63名

【施策額の内訳】

内訳	金額	備考
協力者謝金	9,501,600	800円×8,364.5h、1000円×2810h
消耗品	705,464	テキスト、用紙、インク等
役務費	140,117	事務局電話料、損害保険料
計	10,347,181	

【施策の効果】

参加した児童生徒のアンケートでは「学年が違う友達とも仲良くなれて、宿題が前より早くできるようになった。」  
 「大人になって、BBクラブがあれば、ボランティアで勉強を教えに行きたい」等の声も聞かれるなど、一定の成果につながっている。

**市民意識調査**

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,103					2,103

【施策の目的】

同和問題をはじめとする人権問題に対する市民の意識について把握し、今後の啓発の取り組みを行なうための基礎資料とすることを目的とする。

【施策の実施】

平成24年11月に、20歳以上の小郡市民の方3,000人を抽出し調査を行なった。  
平成25年度に分析・考察を行い報告書を作成した。

【施策額の内訳】

内訳	金額	備考
需用費	144,900	概要版印刷製本費2,000部
委託料	1,958,250	調査業務委託料
計	2,103,150	

【施策の効果】

今後の人権・同和問題の啓発を効果的に推進していくための基礎資料として活用できる。

**啓発冊子作成事業**

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
567		283			284

【施策の目的】

人権問題に関する啓発冊子を作成、閲覧することで、人権尊重の理念を普及し、理解を深めることを目的とする。

【施策の実施】

- ・啓発冊子「差別をなくすために」第37集(240,000部)を作成し、各家庭に配布
- ・「人権作文・標語・ポスター集」(700部)を作成  
人権週間にちなんで、各保育園(所)、幼稚園、小中学校などから募集した作品を学校や地域での教材として活用

【施策額の内訳】

内訳	金額	備考
印刷製本費	567,000	差別をなくすために390,600円 人権作文・標語・ポスター集176,400円
計	567,000	

【施策の効果】

啓発冊子は、全世帯に配布し啓発を行なっている。人権作文・標語・ポスター集については、学校や地域での研修会等で活用し、成果をあげている。

**同和問題市民講演会開催事業**

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
702		225			477

【施策の目的】

市民を対象に講演会を開催し、同和問題をはじめとするあらゆる差別を解消することを目的とする。

【施策の実施】

開催日 平成25年7月6日(土)  
講 師 村崎太郎さん(猿まわし師)  
演 題 「橋はかかる～差別のない世の中を目指して～」  
参加者数 485名

【施策額の内訳】

内訳	金額	備考
講師謝金	600,000	
協力者謝金	35,380	手話、要約筆記、託児
需用費	66,150	ポスター・チラシ印刷
計	701,530	

【施策の効果】

猿まわし師の村崎太郎さんに「橋はかかる～差別のない世の中をめざして」という演題で、ご自身が被差別部落の出身であることを公表された経緯やその後の反響などについて熱く語っていただき、多くの人が感動を受ける内容で大変効果があった。

七夕人権考座開催事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
291		193			98

【施策の目的】

同和問題をはじめ「小郡市人権教育・啓発基本計画」にうたわれている7つの分野(同和問題・男女共同参画・子ども・高齢者・障害者・外国人・様々な差別など)の講座を開催し、人権問題の解消を図ることを目的とする。

【施策の実施】

開催年月日	内容	参加者数
①平成25年7月2日	「障がい者の人権」	19名
②平成25年8月1日	「多文化共生のまちづくり」(外国人の人権)	22名
③平成25年8月8日	「“いいんだよ”は魔法の言葉」(子どもの人権)	38名
④平成25年9月28日	「スポーツ指導の在り方と人権」	75名 (スポーツ振興課共催)
⑤平成25年10月10日	「スマホ社会の子どもの人権」	26名 (教務課共催)
⑥平成25年11月26日	「もっと身近に、デートDV」(女性の人権)	60名 (企画課共催)
⑦平成26年2月8日	「性同一性障がいて生まれたこと・それから繋がること」	51名
⑧平成26年3月21日	「絵本“いのちの花”からのメッセージ」(同和問題)	46名

【施策額の内訳】

内訳	金額	備考
講師謝金	235,000	
協力者謝金	42,000	手話奉仕員
需用費	14,020	消耗品費
計	291,020	

【施策の効果】

平成25年度は、8回開催し合計338名の参加があり、あらゆる人権問題の解消を図るための市民啓発の広がりにつながっている。

保護者啓発事業

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
181		90			91

【施策の目的】

各幼稚園・小中学校の保護者に対する啓発を行い、同和問題をはじめとする様々な人権問題の解消を図ることを目的とする。

【施策の実施】

平成25年度は、各幼稚園・小中学校において19回の人権・同和問題の保護者啓発が行なわれた。

【施策額の内訳】

内訳	金額	備考
講師謝金	181,000	
計	181,000	

【施策の効果】

同和問題や子どもの人権など様々な人権問題を講演等を行い、保護者への啓発につながった。

**人権のまちづくり事業**

人権・同和教育課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
355		75			280

【施策の目的】

各中学校区を単位として人権のまちづくり組織を立ち上げ、活動を展開し、人権が尊重される地域社会を実現することを目的とする。

【施策の実施】

各中学校区単位で、研修会、フォーラム、フェスタなどのイベントの開催、たよりの発行等、地域に合った取り組みが実施されている。

【施策額の内訳】

内訳	金額	備考
講師謝金	110,000	
需用費	245,305	消耗品170,895円、印刷製本費47,250円 食糧費27,160円
計	355,305	

【施策の効果】

地域の中学校区を核にして、地域の様々な団体等が連携することにより、幅の広い人権課題の解決の一役を担っている。

**10款 教育費 2項 小学校費**

(単位:千円)

**児童通学費補助事業(小学校一般管理費)**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
554					554

通学費補助金 554千円

【施策の目的】

遠距離通学児童に対して、交通費の補助を行う。

【施策の実施】

西鉄電車 通学定期1区間分の補助 11か月分  
 小郡小 対象者 6人 今朝丸地区(1年生～6年生)  
 三国小 対象者 42人 津古区、みくにの団地区、三国が丘1区(1年生～3年生)

【施策額の内訳】

	対象人数	補助額
小郡小	6人	67千円
三国小	42人	487千円

【施策の効果】

遠距離通学児童の負担を軽減することができた。

理科教育等設備備品整備事業・小学校(教育振興総務費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,008	502				506
理科教育等設備備品 1,007,665円					
【施策の目的】 小学校の理科教育等設備の整備を計画的に推進する国庫補助事業。(国庫補助 1/2) 理科教育を通し科学的な知識、技能及び態度を習得させるための設備備品を整備する。 年次的に整備し、平成25年度は2校の整備を行った。					
【施策の実施】 ・味坂小・・・電子てんびん他      ・立石小・・・顕微鏡他					
【施策額の内訳】 理科教育等設備備品整備事業 ・味坂小 507,665円      ・立石小 500,000円					
【施策の効果】 理科教育における設備等を整備したことで、より充実した学習体制を整えることができた。					
市教育委員会研究指定委嘱校補助・小学校(教育振興総務費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
800					800
市研究委嘱校補助金 800千円					
【施策の目的】 研究指定校 (1)大原小 H24～H25      (2)東野小 H25～H26					
【施策の実施】 (1)大原小 研究主題「数理を自ら見い出す子どもを育てる算数科学習指導」 ～交流活動の工夫を通して～ (2)東野小 研究主題「確かな言語力の育成をめざす学習指導法の研究」 ～互恵的な学び合いの場の工夫を通して～					
【施策額の内訳】 (1)大原小 550千円(2年次)      (2)東野小 250千円(1年次)					
【施策の効果】 各学校の課題について研究を行い、児童への学習指導方法の向上を図ることができた。					
情報教育設備・機器整備事業・小学校(コンピュータ教育費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
34,793					34,793
【施策の目的】 授業及び校務において児童、教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を整備する。					
【施策の実施】 パソコン教室、職員室、事務室等のパソコン機器の整備を行う。					
【施策額の内訳】 児童用及び教職員用学校コンピュータリース料(12月) 13,482千円 備品購入費(教職員用パソコン123台、プリンター24台) 13,696千円 システム設定等委託料 5,810千円 通信運搬費 1,805千円					
【施策の効果】 平成25年度は、教職員用パソコン及びプリンターを更新し、校務環境を整備することができた。					

特別支援教育就学奨励費・小学校(特別支援教育費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,113	425				688
<b>【施策の目的】</b> 小学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。 国庫補助事業					
<b>【施策の実施】</b> 小学校対象児童数                    36人					
<b>【施策額の内訳】</b> 特別支援教育就学奨励費    1,113千円					
<b>【施策の効果】</b> 特別支援学級に在籍する児童を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。					
就学援助・小学校(就学援助費)					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,116					31,116
<b>【施策の目的】</b> 経済的理由によって就学困難な児童に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。					
<b>【施策の実施】</b> 小学校対象児童数                    523人					
<b>【施策額の内訳】</b>					
入学準備	1,333千円	医療費	707千円		
学用品費	7,084千円	修学旅行費	1,393千円		
給食費	20,574千円	校外活動費	25千円		
		合 計	31,116千円		
<b>【施策の効果】</b> 経済的理由により就学困難な児童に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。					
御原小学校改修事業					教務課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,444	8,690				754
<b>【施策の目的】</b> 大プールの劣化したシートの膨れによる授業への支障の軽減及び小プールの塗装の剥離による児童の怪我の防止をし安全性と教育環境を向上させる。 <span style="float: right;">(※国庫には地域の元氣臨時交付金を充当)</span>					
<b>【施策の実施】</b> 大プール塗装 A=427㎡ 小プール塗装 A=150㎡					
<b>【施策の内訳】</b> 工事費                                9,444千円					
<b>【施策の効果】</b> 大小プールの塗装のやり替えを行った事で、大プールのシートの膨れによる授業への支障及び小プールの塗装の剥離による怪我が無くなり、またプール施設の延命化が達成できた。					

立石小学校改修事業						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,919	2,821				98	
<b>【施策の目的】</b> プールでの事故防止や劣化したフェンスによる児童のけが防止等により、安全性と教育環境を向上させる。 <span style="float: right;">（※国庫には地域の元氣臨時交付金を充当）</span>						
<b>【施策の実施】</b> プールフェンス改修 メッシュフェンス(H=1.8m) L=128.1m 土留めブロック積(2段～4段) L=36.2m						
<b>【施策の内訳】</b> 工事費 2,919千円						
<b>【施策の効果】</b> プールフェンス改修によりプールの安全性及び景観が向上し、安全で快適な教育環境を確保することが出来た。						
大原小学校改修事業						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,553	1,423				1,130	
<b>【施策の目的】</b> 市道(三国・大保原5064号線)の歩道設置計画に伴って支障となる学校の工作物等の移転を行うもの。						
<b>【施策の実施】</b> フェンス撤去・新設 L=57.3m 門扉改修等						
<b>【施策の内訳】</b> 工事費 2,553千円						
<b>【施策の効果】</b> 工作物等の移転工事が完了したことになり、平成26年度歩道設置工事の施工が可能となった。						
東野小学校改修事業						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,153	2,084				69	
<b>【施策の目的】</b> プール内での熱中症等の事故防止のため、日よけを設置する。 <span style="float: right;">（※国庫には地域の元氣臨時交付金を充当）</span>						
<b>【施策の実施】</b> プール日よけ(L=15.26m W=2.6m)設置 1箇所						
<b>【施策の内訳】</b> 工事費 2,153千円						
<b>【施策の効果】</b> 日よけの設置により熱中症等の予防対策が完了し安全で快適なプール環境を確保することが出来た。						
三国小学校大規模改造事業						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
204,206	41,618		157,200		5,388	
<b>【施策の目的】</b> 老朽化し使いづらくなった校舎の内外装、設備、トイレ等を一体的に整備することにより、教育環境の改善を行う。						
<b>【施策の実施】</b> 管理教室棟1～2階内外装全面改修(床・天井等改修、外壁改修、屋上防水改修等) 管理教室棟1～2階トイレ改修						



【施策の内訳】

工事費 197,344千円 備品購入費 2,767千円  
 監理費 3,830千円 消耗品費 265千円

【施策の効果】

大規模改造工事により、内装の木質化、トイレの洋式化、バリアフリー化を図ることができ安全で快適な教育環境を確保することが出来た。また、施設の延命化も達成できた。

**小郡小学校大規模改造事業**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,560					2,560

【施策の目的】

老朽化し使いづらくなった校舎の内外装、設備、トイレ等を一体的に整備することにより、教育環境の改善を行う。

【施策の実施】

教室棟1～3階内外装全面改修(床・天井等改修、外壁改修、屋上防水改修等)  
 教室棟1～3階トイレ改修

【施策の内訳】

設計費 2,560千円 監理費 1,955千円(平成26年度に繰越)  
 工事費 199,700千円(平成26年度に繰越) 備品購入費 600千円(平成26年度に繰越)  
 消耗品費 540千円(平成26年度に繰越)

【施策の効果】

校舎及びトイレの大規模改造工事に伴う実施設計を行い、平成26年度工事に向けての設計が完了した。

**アスベスト対策事業**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,551			5,100		451

【施策の目的】

平成25年度のアスベスト濃度調査の結果、基準値を超えるアスベストの使用が確認されたため飛散防止のための除去工事を行うもの。

【施策の実施】

小郡小学校 ⇒ 管理教室棟階段裏除去 A=60.9㎡  
 立石小学校 ⇒ 管理棟玄関・ロビー天井 A=30.7㎡

【施策の内訳】

工事費 小郡小学校 = 3,255千円  
 立石小学校 = 2,296千円

【施策の効果】

除去工事により、安全な教育環境を確保することが出来た。

**10款 教育費 3項 中学校費**

(単位:千円)

**理科教育等設備備品整備事業・中学校(教育振興総務費)**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,196	598				598

理科教育等設備備品 1,196,115円

【施策の目的】

中学校の理科教育等設備の整備を計画的に推進する国庫補助事業。(国庫補助 1/2)  
 理科教育を通し科学的な知識、技能及び態度を習得させるための設備備品を整備する。  
 年次的に整備し、平成25年度については2校の整備を行った。

【施策の実施】

・立石中・・・顕微鏡他                      ・三国中・・・抵抗器他

【施策額の内訳】

理科教育等設備備品整備事業  
 ・立石中 600,000円                      ・三国中 596,115円

【施策の効果】

理科教育における設備等を整備したことで、より充実した学習体制を整えることができた。

**市教育委員会研究指定委嘱校補助・中学校(教育振興総務費)**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
800					800

市研究委嘱校補助金 800千円

【施策の目的】

研究指定校  
 (1)大原中 H24～H25                      (2)立石中 H25～H26

【施策の実施】

(1)大原中  
 研究主題「生徒の自己学習力を高める指導法の研究」  
 ～メタ認知的アプローチによる、思考し表現する「循環的学び」を通して～

(2)立石中  
 研究主題「小中連携による子どもの自尊感情の育成」  
 ～授業や行事における継続的交流と協働的体験活動を通して～

【施策額の内訳】

(1)大原中 550千円(2年次)                      (2)立石中 250千円(1年次)

【施策の効果】

各学校の課題について研究を行い、生徒への学習指導方法の向上を図ることができた。

**各種大会出場補助金・中学校(教育振興総務費)**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,500					5,500

中学校各種大会出場補助金 5,500千円

【施策の目的】

中学校における体育・文化の振興と中学校生徒の健全な精神と身体の育成を図る。

【施策の実施】

小郡市・三井郡以外の地域で開催される市郡大会や地区大会以上の体育・文化の各種大会出場補助金。大会の出場登録人数と引率者の交通費等を補助する。

【施策額の内訳】

(1)地区大会	1,773千円	(4)全国大会	0千円
(2)県大会	821千円	(5)市郡大会(うきは市開催分)	1,997千円
(3)九州大会	0千円	(5)文化庁大会	909千円

【施策の効果】

中学校における部活動の各種大会の交通費等を補助することで、部活動への意欲的な参加を促進するとともに、心身の育成を図ることができた。

**情報教育設備・機器整備事業・中学校(コンピュータ教育費)**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22,897					22,897

【施策の目的】

授業及び校務において生徒、教員がコンピュータやインターネットを活用できる環境を整備する。

【施策の実施】

パソコン教室、職員室、事務室等のパソコン機器の整備を行う。

【施策額の内訳】

児童用及び教職員用学校コンピューターリース料(12月)	8,671千円
備品購入費(教職員用パソコン86台、プリンター16台)	9,497千円
システム設定等委託料	3,595千円
通信運搬費	1,134千円

【施策の効果】

平成25年度は、教職員用パソコン及びプリンターを更新し、校務環境を整備することができた。

**特別支援教育就学奨励費・中学校(特別支援教育費)**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
762	177				585

【施策の目的】

中学校の特別支援学級への就学事情に鑑み、その就学に係る保護者等の経済的負担を軽減する。  
国庫補助事業

【施策の実施】

中学校対象生徒数 15人

【施策額の内訳】

特別支援教育就学奨励費 762千円

【施策の効果】

特別支援学級に在籍する生徒を抱える保護者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

**就学援助・中学校(就学援助費)**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
29,078					29,078

【施策の目的】

経済的理由によって就学困難な生徒に対し、必要な援助を与え義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。

【施策の実施】

中学校対象生徒数 306人

【施策額の内訳】

入学準備品	2,633千円	医療費等	363千円
学用品費	7,439千円	修学旅行費	4,278千円
給食費	14,275千円	校外活動費	90千円
		合 計	29,078千円

【施策の効果】

経済的理由により就学困難な生徒に対して、必要な援助をすることで、就学に係る経済的な負担を軽減することができた。

**宝城中学校改修事業**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,326	3,846				480

【施策の目的】

グラウンド使用時のボール等による周辺住民及び通過車両への被害を防止する。

（※国庫には地域の元気臨時交付金を充当）

【施策の実施】

防球フェンス(H=5.0m)設置 L=97.3m  
ネットフェンス(H=1.5m)撤去設置

【施策の内訳】

工事費 4,326千円

【施策の効果】

改修によりボール等の敷地外への飛び出しがなくなり、周辺住民及び通過車両への被害の減少及び生徒の安全を確保することが出来た。

大原中学校改修事業						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
30,030	29,023				1,007	
<b>【施策の目的】</b> 屋根の老朽化に伴う雨漏りの改善のため、屋根改修工事を行い、体育館の安全性の確保及び教育環境の向上を図る。 <span style="float: right;">（※国庫には地域の元気臨時交付金を充当）</span>						
<b>【施策の実施】</b> カラーガルバリウム鋼板カバー工法瓦棒葺き A=1,310㎡ ハラハット部塗膜防水 A=516㎡						
<b>【施策の内訳】</b> 工事費 30,030千円						
<b>【施策の効果】</b> 改修により雨漏りの被害が無くなり安全で快適な教育環境の確保が出来た。また施設の延命化も達成出来た。						
小郡中学校改修事業						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,299	3,044				3,255	
<b>【施策の目的】</b> 井戸水の水質悪化に伴う上水道への切り替えを行う。 <span style="float: right;">（※国庫には地域の元気臨時交付金を充当）</span>						
<b>【施策の実施】</b> 受水槽用配管(ポリエチレン管φ40)敷設 L=1.8m プール用配管(ポリエチレン管φ75)敷設 L=148.9m						
<b>【施策の内訳】</b> 工事費 3,258千円 負担金 3,041千円						
<b>【施策の効果】</b> 上水道への切り替えを行った結果、生徒への健康被害の防止対策を行うことが出来た。						
三国中学校改修事業						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,944	2,845				99	
<b>【施策の目的】</b> 部活等での敷地利用時のボール等による周辺住民及び通行人への被害を防止する。 <span style="float: right;">（※国庫には地域の元気臨時交付金を充当）</span>						
<b>【施策の実施】</b> 防球ネット(H=5.4m～6.0m)設置 L=56.0m						
<b>【施策の内訳】</b> 工事費 2,944千円						
<b>【施策の効果】</b> 防球ネットの設置によりボール等の敷地外への飛び出しがなくなり、周辺住民等への被害の減少及び生徒の安全を確保することが出来た。						

10款 教育費 5項 幼稚園費

(単位:千円)

私立幼稚園就園奨励事業(私立幼稚園費)						教務課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
59,546	14,579				44,967	
<b>【施策の目的】</b> 授業料等の経済的負担が大きい家庭等を対象に、国の制度に則り補助金を交付し就園奨励を行う。 (国庫補助事業)						

【施策の実施】

市民税の税額や子どもの人数等に応じて6段階に区分し補助  
 <対象人数> 私立幼稚園 537人

【施策額の内訳】

私立幼稚園就園奨励費補助金 59,546千円

【施策の効果】

幼稚園に就園している子どもをもつ家庭に対して、所得状況に応じ補助を行うことで、経済的負担を軽減することができた。

**三国幼稚園改修事業**

教務課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,875	7,611				264

【施策の目的】

屋根の老朽化による雨漏りの改善のため、幼稚園建物全体の屋根改修工事を行い、園児の安全性の確保及び教育環境向上を図る。

【施策の実施】

保育室屋根改修(カバー工法カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺き) A=504㎡  
 職員室屋根改修(カバー工法カラーガルバリウム鋼板瓦棒葺き) A=103㎡  
 倉庫・便所屋根改修(シリコン系塗膜防水) A=106㎡

【施策の内訳】

工事費 7,875千円

【施策の効果】

改修により雨漏りの被害が無くなり安全で快適な教育環境の確保が出来た。また施設の延命化も達成できた。

**10款 教育費 6項 社会教育費**

(単位:千円)

**地域活動指導員設置事業(社会教育総務費)**

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,471		6,723			1,748

【施策の目的】

県の補助事業により地域活動指導員を配置して、地域の人権啓発活動の支援や、子どもたちの放課後や休日の遊び場・学び場の運営支援を行う。

【施策の実施】

人権のまちづくり(小郡、御原、味坂、大原、東野)、アンビシャス広場、学び場支援、及び社会教育団体等の人権啓発業務に5人地域活動指導員を配置し、地域活動のコーディネーター的役割を担っている。

【施策額の内訳】 8,471 千円

内 訳	金額(円)
指導員報酬	8,470,806
合 計	8,470,806

【施策の効果】

人権啓発活動、アンビシャス広場運営、学び場等のサポートを行い、“まちづくり”の支援を行う地域に密着した活動員としての役割を担うことができた。

**社会教育関連講座・学級開設事業(社会教育総務費)**

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,459				1,669	2,790

【施策の目的】

個人のニーズや地域の課題に対応するため、市民に多様な学習の場を提供することにより、自主的な活動を推進し、かつ、人間形成の向上を図るもの。

【施策の実施及び施策額の内訳】

事業名	施策額(円)	講座・講演会等参加述べ人数
家庭教育事業	1,246,344	494人
成人教育事業	1,412,447	141人
女性・青少年教育事業	632,213	408人
高齢者等はつらつ教育事業	1,168,324	400人
合計	4,459,328	1,443人

(負担金・補助金を除く)

【施策の効果】

それぞれの対象に向け、様々な講座・研修会等を開設し、情報提供することができた。  
また、社会参加の活動が増えることにより、地域住民相互の交流の場ともなっている。

成人式開催事業

生涯学習課

総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
771					771

【施策の目的】

これからの社会を担う新成人を祝福し、活力ある社会の創造に寄与する目的で事業を実施する。

【施策の実施】

- ・前年の8月から新成人による実行委員会(企画運営会議8回)を組織して、全体式典と校区别交流会の企画・運営を行った。
- ・平成26年1月12日(日)に開催し、613人の新成人が参加した。

【施策額の内訳】

施策総額 771 千円

内訳	金額(円)
託児・支援者謝金	51,000
記念品、記念写真代	532,872
消耗品費	33,850
食糧費	109,018
委託料(駐車場整理)	18,480
賃借料(式典舞台機材)	26,250
合計	771,470

【施策の効果】

卒業した中学校の当時の生徒会役員等が実行委員に当たることで、新成人の手による“成人式”を作り上げることが出来ている。対象者は毎年新しくなるが、本方式が後輩に受け継がれており、今後も成人式の企画・運営についてはこの方法を継続していく。

新アンビシャス広場づくり事業

生涯学習課

総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,400		932			468

【施策の目的】

放課後や休日に、子どもたちが地域の中で有意義に過ごせる“居場所”として開設されている。小中学校や校区公民館、地域の自治公民館を利用して、子どもたちが異年齢の人と交流を深め、相互ふれあいの中で、創造性や自主性、社会性を身につける諸活動を行う。

【施策の実施】

- いきいきアンビシャス広場の開設
  - ・広場開設場所：小郡交流センター、小郡小学校、小郡中学校、のぞみがおか生楽館、味坂小学校・味坂校区公民館、宝城中学校、東野校区公民館、大原中学校、大原小学校、東野小学校、御原小学校
  - ・参加子ども：述べ22,561人、参加推進員・ボランティア：述べ2,634人

【施策額の内訳】

施策総額 1,400 千円  
新アンビシャス広場づくり事業補助金 一般財源1/3、県費2/3(国庫から県へ1/3補助)

【施策の効果】

- ・学年を越えた子どもどうしで遊びや体験活動を行うため、お互いを思いやる仲間の輪が広がっており、ボランティアスタッフとも良い信頼関係が作られている。
- ・地域(地元出身)の大学生や社会人が学習サポートを行っており、自学自習の相談相手としての交流の場もなっている。
- ・地域のお祭りやイベント等に参加したり、広場での魅力ある行事を企画して、地域の人々や伝統文化に触れる機会が作られている。

青少年シンポジウム事業

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,800				1,800	

【施策の目的】

現代の青少年は自尊感情や学ぶ意欲の低下、将来への希望の欠如、他人とのコミュニケーション能力の低下などの問題によって社会と繋がれない、社会に出ていけない者も増えており、青少年を取り巻く大人の関わりを考える機会とするため青少年シンポジウムを開催する。

【施策の実施】

- ・講演会—(講師) 陰山英男 氏(立命館大学教授)
- ・シンポジウム—市内中学生6名と大人3名によるディスカッション (コーディネーター 加地良光 氏)
- ・平成25年7月15日(祝・月)に小郡市文化会館において開催し、565名が参加した。

【施策額の内訳】

施策総額 1,800 千円

内 訳	金額(単位:円)
講師・協力者謝金	1,143,500
記念品代	30,000
消耗品費	281,832
食糧費	8,800
印刷製本費	166,110
通信運搬費	105,000
委託料	64,758
合 計	1,800,000

【施策の効果】

シンポジウム助成事業(100%補助)の交付を受け実施した事業で、著名な講師による講演会・シンポジウムを開催できたため参加者も多く、今後の活動の意識づけとして本事業は有効であった。

公民館関連補助金(公民館管理費)

協働推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,640				16,400	9,240

【施策の目的】

地域住民のもっとも身近なコミュニティ活動の場である自治公民館に対し助成することにより、地域の生活文化の振興と社会福祉の増進を図る。

【施策の実施】

- 福岡県公民館連合会負担金 56 千円
- 自治公民館育成 5,488 千円
  - ・自治公民館連絡協議会への補助金交付 5,392 千円
  - ・モデル自治公民館委嘱事業に伴う補助金交付 96 千円
- 自治公民館建設(改修)事業への補助金交付 3,696 千円
- コミュニティ助成(一般助成) 1,400 千円
  - 屋外・移動式放送設備購入
- コミュニティ助成(コミュニティセンター助成) 15,000 千円
  - 赤川区公民館建設

【施策額の内訳】

モデル自治公民館委嘱事業に伴う補助金 (単位:円)

内 訳	金 額
味坂校区自治公民館館長会	48,000
東野校区自治公民館連絡協議会	48,000
合計	96,000

自治公民館建設(改修)事業への補助金 (単位:円)

内 訳	金 額	備 考
緑区公民館	700,827	トイレ改修工事
上岩田区公民館	669,732	玄関ホール・トイレ改修工事
今隈区公民館	800,000	トイレ改修工事
東野区公民館	185,377	ホール・玄関床張替工事
高島公民館	399,735	トイレ・外壁・台所改修工事
立石区公民館	248,836	外壁・雨戸・庇改修工事
干潟区公民館	316,299	トイレ改修工事
小坂井1区公民館	374,850	屋根塗装・スロープ設置工事
合計	3,695,656	

【施策の効果】

公民館長研修会の充実及び活動内容の幅が広がった。その結果、研修会に参加した館長の公民館活動への意欲が向上した。また、老朽化した公民館を改修することで公民館の利便性を強化した。

社会教育関連講座開設事業(各校区公民館管理費)

協働推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
563					563

【施策の目的】

社会教育事業推進のため、校区公民館の講座・教室を開設する。

【施策の実施】

○校区公民館各種講座の実施

- ・講座講師謝金 563千円
- ・講座実施回数(延べ) 435回
- ・受講者数(延べ) 6,951人

【施策の内訳】

内 訳	金額 (単位:円)	講座実施回数(延べ) (単位:回)	受講者数(延べ) (単位:人)
味坂校区公民館	72,000	47	666
御原校区公民館	87,500	65	1,169
立石校区公民館	90,000	68	882
三国校区公民館	59,000	61	752
のぞみがおか生楽館	92,000	47	799
小郡交流センター	73,000	50	712
東野校区公民館	89,100	97	1,971
合計	562,600	435	6,951

【施策の効果】

市民の学習意欲の向上及び高齢者の生きがいづくりの場となっている。  
また、講座を通して様々な人が交流することでコミュニティ形成の場にもなっている。

のぞみがおか生楽館改修工事(のぞみがおか生楽館管理費)

協働推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,268					5,268

【施策の目的】

小学校内に設置された校区公民館であり、クラブハウス以外は学校施設を使用しているため会議室が不足している。このため、利用者の利便性向上のため、会議室としても共用できるように、プレハブ教室2室を改修するのである。

【施策の実施】

- のぞみがおか小学校南側校舎西側棟プレハブ教室2室改修
- 会議室用備品購入(机・イス)



## 【施策の内訳】

(単位:円)

内 訳	金 額	備 考
プレハブ教室改修工事	3,925,950	天井新設、電気設備関連工事、空調関連工事
会議室備品購入	1,341,900	会議室用として机・イス等の備品購入
合 計	5,267,850	

## 【施策の効果】

会議室の増加により、利用者の利便性が向上した。

## 大原校区公民館準備室費

協働推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,336					5,336

## 【施策の目的】

市内の小中学校区で唯一校区公民館がないため、大原校区公民館準備室として大原小学校内北側のプレハブの倉庫2部屋を会議室、及び事務室として改修し、地域の定期的な会議に利用するものである。

## 【施策の実施】

- 大原小学校内北側プレハブの倉庫2部屋を会議室、及び事務室に改修
- 事務室・会議室用備品購入

## 【施策の内訳】

(単位:円)

内 訳	金 額	備 考
消耗品・通信運搬費	202,333	準備室用消耗品購入・電話回線設置
プレハブ倉庫改修工事	3,606,750	電気設備関連工事、空調関連工事、給水設備
事務室・会議室備品購入	1,526,969	ローカウンター・会議机・椅子・パソコン
合 計	5,336,052	

## 【施策の効果】

会議室の設置により、地域の定期的な会議に利用されている。

## 文化関連補助金(文化振興費)

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,850				2,900	7,950

## 【施策の目的】

地域における各文化関係団体等の自主的活動の促進を図り、地域社会の文化活動向上を図るための助成を行う。

## 【事業成果】

- ① 各文化団体とも活動の活性化を図るため公演・展示活動の充実を図った。

5/26	立木早絵「講演会と弾き語り」	文化会館大ホール	入場者数	180人
6/23	第10回小郡市文化協会芸術祭 (出演者 76人 展示数 21点)	小郡市文化会館	入場者数	288人
7/14	岡本知高ソプラニスタ・コンサート	文化会館大ホール	入場者数	614人
8/7	森山良子アコースティックコンサート	文化会館大ホール	入場者数	604人
9/15	三遊亭歌之介独演会	文化会館大ホール	入場者数	513人
11/9	第24回市民文化祭	小郡市文化会館	入場者数	2,461人
～10	(出演者 723人 展示数 394点)	生涯学習センター		
11/17	中国影絵「西遊記」	文化会館大ホール	入場者数	322人
11/23	市民ミュージカル「ハードル」	文化会館大ホール	入場者数	1,400人
～24	～真実と勇気の間で～			
1/18・19	小郡名画座	文化会館大ホール	入場者数	600人
2/10	ハーモニーinおごおり	文化会館大ホール	入場者数	1,700人
2/22	午後2時コンサート 安武玄晃コンサート	文化会館大ホール	入場者数	525人

② 小郡市伝統文化活性化実行委員会の活動支援を行うとともに、「文化遺産を活かした地域活性化事業」の補助金を活用し、各文化教室の活性化につなげた。

・ 古賀区こども囲碁教室	古賀区公民館	延人数	754人
・ 小郡市装道和装礼法教室	文化会館和室	延人数	177人
・ 小郡祇園太鼓教室	商工会館他	延人数	656人
・ 池坊いけばな教室	市内6会場	延人数	221人
・ 記録作成、調査研究事業	市内各地	延人数	322人

【施策額の内訳】

施策総額 10,850 千円

内 訳	金額(円)
小郡市文化協会補助金	500,000
市民文化祭実行委員会補助金	1,050,000
小郡市音楽祭実行委員会補助金	4,500,000
小郡市文化事業協会補助金	4,800,000
合 計	10,850,000

【施策の効果】

文化活動を行っている各団体への支援を行う事により、文化の薫り高い地域づくりに貢献できた。

文化会館改修事業

生涯学習課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,396	3,724				2,672

【施策の目的】

開館当初より汚水は浄化槽処理であったが、平成24年度に生涯学習センターが下水道への切り替え工事を施工したことを受け、同様に文化会館図書館棟も下水道接続工事を行うものとする。また、大ホールの2階部分の両サイドに手摺を設置した。

（※国庫には地域の元気臨時交付金を充当）

【施策の実施】

- 小郡市文化会館の下水道切り替え工事
- 小郡市文化会館の浄化槽の廃棄
- その他改修事業

【施策の内訳】

内 訳	金額(単位:円)
設計委託料	367,500
浄化槽清掃消毒作業委託料	1,677,900
下水道接続工事費	3,951,150
小規模工事	399,000
合 計	6,395,550

【施策の効果】

下水道に切り替えたことによるトラブルは無く、利用者からの不満等の声も上がってはいない。市民のより快適な施設利用に貢献することができた。

ブックスタート事業(図書館管理費)

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
965					965

【施策の目的】

幼児期の早い時期に本(絵本)と出会う機会を提供して、絵本を通じたスキンシップで親子のきずなを深めるとともに、家庭での読書環境づくりを支援していく。

【施策の実施】

- ・ 生後10ヶ月の乳幼児健診時にスタッフが事業説明と読み聞かせの大切さを説明して、ブックスタートパック(布バッグ・小冊子)と記念品(選定絵本2冊・絵本リスト)を手渡す。
- ・ H25年度 10ヶ月健康診査受診者 419組

【施策額の内訳】

ブックスタートパックと記念品代(絵本代) 859千円  
 ブックスタート説明補助員賃金 106千円

【施策の効果】

- ・乳幼児同伴親子の図書館利用が増えてきている。
- ・本事業が、家庭での絵本の読み聞かせをする“きっかけづくり”になり、家読推進の基礎になっている。
- ・単なる絵本の配布ではなく、絵本の読み聞かせを通して親子のふれあいや家庭教育の大切さを伝えられている。

**野田宇太郎文学資料館事業(図書館管理費)**

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,664		672			1,992

【施策の目的】

資料のデータ化と保存処理を完了させ、市民の貴重な財産として活用・公開を目指す。また、常設展示や企画展示を充実させて、野田宇太郎氏の功績を内外に広報PRしていく。

【施策の実施】

- ・企画展「耽美主義文学運動『パンの会』-不可思議国の建設-」(展示期間:2月8日～4月20日)を開催した。
- ・個性ある地域づくり推進事業費補助金を活用して、野田氏の代表作「文学散歩」シリーズ全26巻の索引本を作成した。

【施策額の内訳】

展示パネル作成設置及びポスターチラシ印刷委託料 648千円  
 野田宇太郎文学散歩索引本作成委託料 2,016千円

【施策の効果】

- ・企画展の実施により、野田宇太郎氏の功績を紹介・PRすることができた。
- ・「文学散歩」全26巻の索引本を完成させることにより、文学的価値を高め、併せて野田氏の功績をPRすることができた。

**「子ども読書」の街づくり推進事業**

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,388					1,388

【施策の目的】

子どもに読書の魅力を伝えて、読書意欲を向上させることを目的とし、学校・地域・家庭が一体となって子どもたちの読書活動を支えていくこととする。

【施策の実施】

- ・「子ども読書の日」記念事業として、絵本に出てくるメニューを給食に1品加える「ものがたりレシピ」給食を市内小中学校で実施。併せて、チラシ「ものがたりレシピをいただきます」を配布した。また、のぞみが丘小学校の2年生のクラスで絵本の読み聞かせを行った。
- ・家読推進のためにモデル校(のぞみが丘小学校・三国幼稚園・三国保育所)を設定し、家庭での読書記録をつける「うちどくダイアリー」を児童・園児に配布した。
- ・家読講演会を全体で3回、モデル校で各1回ずつ開催した。
- ・読書好きの子どもを増やす「本はともだちプロジェクト」により、小中学校で行った読書活動を外部の専門家等に評価してもらった「いきいき読書活動コンクール」と「本のPOP講座」を開催した。
- ・図書館のマスコット「ラックン」のぬいぐるみを作成した。

【施策額の内訳】

講師謝金等 1,009千円  
 印刷製本費等 159千円  
 ぬいぐるみ作成委託料 220千円

【施策の効果】

- ・家読講演会にも多数の参加者があり、参加者に「読書の楽しさ」や「読書が子どもの成長にいい」ことを分かっていた。
- ・「本のPOP講座」は本に親しむきっかけづくりになっており、さらに読書好きの子どもが増えるよう継続していく。

**三国校区公民館図書室改修事業**

図書館

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,100					7,100

【施策の目的】

これまで利用が少なかった三国校区公民館図書室をもっと市民が利用しやすい図書室に改修する。特に高齢者や子どもとその保護者に重点をおいたサービスに取り組めるような施設に改善する。

【施策の実施】

- ・カウンターの設置と一部書架改修などの工事を行った。
- ・新刊図書購入や雑誌新聞の配置を行った。

【施策額の内訳】

三国校区公民館図書室改修工事 1,250千円  
 図書・一般備品等購入費 5,850千円

【施策の効果】

- ・カウンターの設置や一部書架の改修ができ、新刊図書・新聞雑誌を配置して、利用しやすい図書室にすることができた。
- ・平成26年1月23日より図書館職員を配置して、貸出・返却のほか予約の受付、利用券の発行などのサービスを行うようになり、利用者も増加している。

**文化財関係団体育成(文化財保護費)**

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
547					547

【施策の目的】

市内の文化財保護を進めるために、その保護に関わる文化財関係団体に対し、その活動を助成し、育成を目的とする。

【施策の実施】

各文化財関係団体の文化財保護活動に対して補助金を交付し、適正・有効な活動の指導・助言を行った。

【施策の内訳】

1. 郷土史研究会	76千円
2. 福童將軍藤保存会	160千円
3. 高卒都婆保存会	61千円
4. 名馬池月の塚保存会	38千円
5. 史跡案内ボランティア友の会	142千円
6. 協議会等負担金	70千円
合 計	547千円

【施策の効果】

文化財関係団体からは、年間を通して通常の文化財の保護・管理と啓発活動に協力を得られた。

**文化財発掘調査・重要遺跡調査事業**

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
21,678	5,477	7,747		36	8,418

【施策の目的】

市内の埋蔵文化財包蔵地および未確認対象地における開発に対する事前審査を行う。  
 重要な遺跡(史跡等)に対しては、確認調査など文化財保護法に基づく処置を目的とした調査を行い、埋蔵文化財包蔵地に対して開発を行われる際、文化財保護法に基づいて発掘調査を実施するなど、文化財保護のために適切な処置を行う。

【施策の実施】

- ・ 窓口(電話対応を含む)における開発に対する文化財の指導 年間約450件
- ・ 書面による事前審査対応件数 125件
- ・ 試掘を行った件数 42件
- ・ 重要遺跡確認調査及び報告書作成を行った遺跡 12件
- ・ 公共事業に関する緊急な発掘調査を行った件数 1件

【施策の内訳】

<7目 文化財発掘調査費>

- ・ 試掘 3,515 千円
- ・ 重要遺跡 10,981 千円
- 内訳
  - 1) 横隈山古墳 1,451 千円
  - 2) 花立山古墳群 367 千円
  - 3) 津古内畑遺跡 3,234 千円
  - 4) 横隈山遺跡 2,801 千円
  - 5) 大板井遺跡26 197 千円
  - 6) 大板井遺跡27 44 千円
  - 7) 大板井遺跡28 379 千円
  - 8) 小坂井屋敷遺跡6 505 千円
  - 9) 小坂井屋敷遺跡7 368 千円
  - 10) 八坂末安遺跡2 1,280 千円
  - 11) 小郡若山遺跡7 165 千円
  - 12) 小郡前伏遺跡5 190 千円
- ・ 下岩田石仏遺跡(県道塔ノ瀬十文字小郡線に伴う発掘調査) 7,182 千円

【施策の効果】

開発に先立つ文化財保護のための指導を円滑に進め、近年増加傾向にある個人住宅建設に先立つ調査や公共事業に先立つ調査にも迅速に対応した。史跡指定を目的とした横隈山古墳の確認調査では、今後の整備や防災対策計画策定のための基礎資料を得ることができた。

文化財発掘受託調査事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
35,776				35,773	3

【施策の目的】

民間開発業者が埋蔵文化財包蔵地に対して開発を行う際、事前に文化財保護法に基づいて発掘調査を実施し、記録保存を行う。

【施策の実施】

- ・ 前年度までに調査を終了し、出土遺物の整理・報告書作成を行った遺跡 7遺跡
- ・ 民間の開発により緊急発掘調査を実施した遺跡 5遺跡(1件は翌年度までの継続事業)

【施策の内訳】

<8目 文化財発掘受託調査費>

- ・ 上岩田遺跡 4,699 千円
- ・ 小坂井屋敷遺跡5 2,132 千円
- ・ 大板井遺跡25 877 千円
- ・ 西島遺跡8 4,278 千円
- ・ 福童町遺跡10 984 千円
- ・ 上岩田遺跡14 662 千円
- ・ 三沢遺跡 6,438 千円
- ・ 緊急調査 15,706 千円
- 内訳
  - 1) 福童町遺跡11 517 千円
  - 2) 小坂井屋敷遺跡8 1,340 千円
  - 3) 小郡前伏遺跡3 443 千円
  - 4) 寺福童遺跡6 919 千円
  - 5) 小郡前伏遺跡4 734 千円
  - 文化財保護基金積立金 11,753 千円
  - (文化財保護基金積立金には利息3,087円を含む)

【施策の効果】

開発に先立つ埋蔵文化財の事前調査と、記録および出土資料の整理を円滑に行うことができた。また、これらの資料は今後学校教育・生涯学習などにおいて活用に供される。

**史跡等及び埋蔵文化財公開活用事業**

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,915	2,950			15	2,950

【施策の目的】

埋蔵文化財発掘調査によって出土した文化財を適正に保管・管理し、その公開・活用を行うことで生涯学習・学校教育に資することを目的とした事業。

【施策の実施】

- ・ 体験学習等開催事業
  - ① 体験学習講座 土笛、勾玉、須恵器等を作る講座を計10回実施(参加者約250名)
  - ② 考古学講座 県内各地と小郡との関連をテーマに、全3回実施
  - ③ 特別展示会  
『古墳の黎明～津古古墳群とその周辺～』と題して、市内及び周辺市町関連資料を併せて展示し、記念講演会を実施した。
- ・ 広報資料作成事業
  - ① 所蔵資料のうち3点(方格規矩鳥文鏡、滑石製子持勾玉、焼成時に歪んだ弥生土器)のヴァーチャルリアリティを製作し、ホームページに掲載した。
  - ② 市内文化財紹介パンフレット及び発掘調査紹介パンフレットを作成した。
- ・ 台帳作成等事業
  - ① 写真資料保管環境整備  
発掘調査実績の蓄積に伴って資料数が増加し、管理・検索が困難となっている写真資料を順次デジタル化し、既刊報告書掲載資料と記録資料との分別を実施した。
  - ② 実測図面整理活用  
発掘調査時に作成した各種図面の再整理を行った。
- ・ センター設備整備事業
  - ① 鉄器や青銅器の展示環境を整備するため、外気密閉型の島型展示ケースを購入した。

【施策の内訳】

施策総額	5,915千円	(補助率は雇用保険の個人負担分を除き国庫1/2)
体験学習等開催事業	510千円	
広報資料作成事業	497千円	
台帳作成等事業	3,459千円	
センター設備整備事業	1,449千円	

【施策の効果】

体験学習等事業は、年々内容を充実させることにより参加者が増加傾向にあり、市民、児童・生徒の郷土のあゆみに対する関心が高まりつつあることが分かる。台帳作成等事業は、資料の滅失・散逸を防ぐことが目的だが、これにより外部機関や市民の見学・利用への対応がスムーズになった。広報資料作成事業・センター設備整備事業等は、事業の実施を通して文化財愛護思想の浸透を進めることが可能で、今後の文化財行政の円滑な運営に結び付くことが期待される。

**小郡市内文化遺産再発見事業**

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,051				5,379	672

【施策の目的】

市内に残る古建築や石造物などの記念物はもちろん、古くから存在する土塀や樹木、さらには地域に残る伝統産業や目に見えない言い伝えや風習等まで広い分野を対象に、文化遺産の悉皆調査を実施した。なお、平成25年度は味坂・御原校区を対象として実施し、その成果をまとめた報告書とリーフレットの作成を行った。

【施策の実施】

- ・ 町中に残る文化遺産の悉皆調査
- ・ 調査成果を利用した公民館等でのパネル展示
- ・ 調査成果をまとめた報告書の作成及び配布用のリーフレット作成

【施策の内訳】

施策総額	6,051千円	(補助率は一部賃金、共済費を除いて 10/10)
事業費の内訳	金額	
・保険料	530 千円	
・賃金(整理作業員)	4,905 千円	
・報償費(講師謝金)	44 千円	
・旅費(費用弁償)	3 千円	
・消耗品費(ケント紙・チューブファイルなど)	169 千円	
・印刷製本費(リーフレット印刷など)	400 千円	
合計	6,051 千円	

【施策の効果】

悉皆調査を通して、再発見された文化遺産を生涯学習に役立てるとともに、新たな観光資源としての活用が可能となる。また、同様の悉皆調査を実施する周辺自治体と情報を交換する中で、新たな文化財普及啓発事業の展開や雇用機会を生み出す契機となる。

伝承等文化資源調査活用事業

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,023				4,383	640

【施策の目的】

本市の自然や民俗を「地域の文化資源」としてとらえ、その視点から伝承や方言、身近な自然とそれに適応するための生活の知恵などについての聞き取り調査を進めていくことを中心に、それら「文化資源」の調査・記録・保存・整備を継続的に行い、その特長を活かした地域活性化につなげていく。

【施策の実施】

伝承についての聞き取りを中心に、民具や石造物の調査・記録、民俗学講座・講演会・体験学習の開催、さらにはこれまで聞き取った伝承や方言に親しむことを目的とした「小郡百人一首」を作成・配布した。

【施策の内訳】

総額	5,023 千円	(補助率は一部賃金、共済費等を除いて10/10)
事業費の内訳	金額	
・賃金(整理作業員)	3,654 千円	
・保険料	37 千円	
・報償費	146 千円	
・消耗品費(インクジェット・紙類など)	147 千円	
・印刷製本費(「小郡百人一首」印刷・製作)	478 千円	
・その他(公用車・事務所賃貸料、電話料 他)	561 千円	

【施策の効果】

中心となる調査対象である高齢者が自己の存在価値を再認識し、そのことがさらに生き生きとした生活につながっている言動が見られている。また市内の民間に残る伝承や民具が、文化資源として再認識され、本市の貴重な民俗資料となっている。これまで顧みられることが少なかったこれらの文化資源について、市民の認識や関心が高まりつつあり、新たな観光資源や地域活性化の材料としての活用が期待される。

親子で楽しむ歴史メディア開発事業(福岡県緊急雇用創出事業)

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,880		2,880			

【施策の目的】

埋蔵文化財調査センターに展示されている資料のうち、特に小郡市の地域的特色を示す資料を紹介する展示解説機器の設置および解説ソフト・動画の開発を行った。解説は複数言語で作成した。本事業は全て委託事業として実施した。

【施策の実施】

- ・埋蔵文化財調査センターの展示案内用音声ガイドソフト(日・英・韓・子ども用)の開発
- ・音声ガイド視聴用のタブレット端末の設置

【施策の内訳】

・委託料	2,879,520 円
------	-------------

**【施策の効果】**

展示室内の視聴覚関連設備及びシステムの充実によって、日常的な学校教育・生涯学習に役立つアイテムとなった。また、施設のバリアフリー化の進展と、親子連れや外国人など観光客に対する「歴史と文化のまち小郡市」のPR促進につながった。

**小郡官衙遺跡群用地買収事業**

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
37,728	30,170	1,200			6,358

**【施策の目的】**

地域の歴史を語る上で欠かせない史跡小郡官衙遺跡群を保存し、公有化を促進し、将来的に史跡公園として整備・活用を図るために、平成23～24年度に指定範囲や公有化手順を決める保存・活用計画、平成24年度に整備基本計画を策定したが、それに基づいて平成25年度は一部の移転補償と公有化事業を実施した。

**【施策の実施】**

1. 史跡の買上げ

①小郡官衙遺跡買上げ（小郡552-44番地）555.14㎡

**【施策の内訳】**

施策総額	37,728 千円	(国:補助対象経費の80%、県15%(上限1,200千円))
事業費の内訳	金額	
・小郡官衙遺跡土地購入費	25,703 千円	
・小郡官衙遺跡不動産業務委託	168 千円	
・小郡官衙遺跡補償費	11,283 千円	
・小郡官衙遺跡測量等業務委託	559 千円	
・消耗品費	15 千円	
合計	37,728 千円	

**【施策の効果】**

公有地については、史跡の恒久的な保存・管理を行うことができるようになった。継続して、指定対象範囲の保存を図るが、併せて本格的な整備活用に向けた計画の準備段階に入ることが可能になった。また平成25年度の公有化地は、トイレなど便益施設の一部先行建設が可能になった。

**市内古建築整備事業【地活債・単独】**

文化財課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,031			13,300		1,731

**【施策の目的】**

平成24年度～26年度に市指定有形文化財油屋の一部中油屋を解体・調査し、復原する事業である。平成24年度に解体・調査、平成25年度は復原の1年目にあたり、平成26年度に竣工予定である。復原後は地域の歴史的・文化的遺産として教育や地域のコミュニティづくりに活用する予定である。

**【施策の実施】**

文化財として整備する事業であるため、設計監理は専門の公益財団法人文化財建造物保存技術協会に業務委託し、解体、復原も資格を有す企業に業務委託した。

**【施策の内訳】**

市内古建築整備事業総額 15,031千円(地域活性化事業債 充当率90% 13,300千円)

内訳

中油屋解体復原設計監理委託料	3,795 千円
中油屋解体復原業務委託料	11,000 千円
労災保険料	1 千円
発掘調査賃金	222 千円
消耗品費	13 千円
合計	15,031 千円

**【施策の効果】**

平成24年度の解体調査によって、従来建築年代が不明であった中油屋の建築時期が、嘉永2年(1849)と判明し、油屋の建築物としての文化財的価値を高め、今後の活用役に役立つ成果が得られたが、平成26年度の竣工に向けて市民・地域の期待が高まっている。



小郡官衙遺跡群施設等整備事業【地活債・単独】					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
858			700		158
【施策の目的】 平成22年度下半期から平成23年度にかけて、指定範囲や公有化手順を決める保存・管理計画を作成し、平成24年度は公有化地の整備を実施するための整備基本計画を策定した。それに基づいて平成25-26年度にトイレの設計・施工を実施する。					
【施策の実施】 トイレ設置は平成25年度に設計、平成26年度に工事を実施する。					
【施策の内訳】 小郡官衙施設等整備事業総額 858千円(地域活性化事業債 充当率90% 700千円)					
内訳					
	トイレ設計委託料		840 千円		
	役務費		18 千円		
	合計		858 千円		
【施策の効果】 小郡官衙遺跡公園に便益施設であるトイレの建設を行うことで、史跡地でのイベント開催ができるようになり、新たな観光資源として、また郷土の歴史の活きた教材として史跡としての活用が可能となる。					
市内歴史遺産活用事業【緊急雇用創出事業】					文化財課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,508		5,508			
【施策の目的】 江戸時代に市内を南北に通過していた旧薩摩街道沿いに所在する街道関連の文化遺産(街道遺産)を調査研究し、そのうち見学などに適した街道遺産を選定し、その活用によって市の文化財保護と教育・観光の資源としての活用を図る。					
【施策の実施】 市の文化財保護・観光資源としての活用を図るため、市内文化財管理の経験や蓄積のある特定非営利活動法人小郡の歴史を守る会に業務委託した。					
【施策の内訳】 市内歴史遺産活用事業総額 5,508千円(福岡県緊急雇用創出事業 10/10)					
【施策の効果】 薩摩街道沿いに残る文化遺産を総合的に調査してその報告書を作成し、各小・中学校や関係機関に配布して、その使用法を説明し、有効な活用が図れる環境を作った。その調査成果を基にモニターツアーを実施し、今後、薩摩街道文化遺産の活用に対し、幅広い意見を求め、将来の地域づくりの素材作りを行った。					

10款 教育費 7項 保健体育費

(単位:千円)

体育総務費					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,417				140	3,277
【施策の目的】 各種団体等のスポーツ活動に助成を行うことで、体力向上や団体育成を図ることを目的とする。					
【施策額の内訳】					
	(1) 体育協会補助金		1,800千円		
	(2) 全国・西日本・九州大会出場補助金		565千円		
	(3) 地域スポーツ振興補助金		490千円		

- (4) プール利用補助金 金額562千円 (鳥栖利用者負担額 140千円)  
 久留米市民流水プール、鳥栖市民プール利用補助 利用者数3,358名  
 (内訳:久留米市 1,455名・鳥栖市 1,903名)

【施策の効果】

各種団体の育成並びに全国大会等へ出場する際の負担軽減に繋がった。また、水難事故防止と体力向上が図られた。

スポーツ行事開催事業

スポーツ振興課

総 額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
5,964					5,964

【施策の目的】

スポーツは、爽快感・達成感・連帯感や楽しさ、喜びをもたらす、また、体力の向上、精神的なストレス発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、この事業の推進により、医療費の節減効果、青少年の健全育成、地域の連帯感の醸成、更には、市民生活をより豊かに明るく活気に満ちた地域社会の形成へと導く。

【施策の実施事業】

(1) 第45回公民館対抗バレーボール大会

4月14日(日) 立石中学校・大原中学校体育館 参加者数 246人

(2) 第20回ジュニアスポーツフェスティバル

4月28日(日) 市野球場他 参加者数 793人

(3) 第36回フェスティバル小郡市民スポーツ大会

テニス、ソフトテニス、ママさんバレーボール、バドミントン、卓球、グラウンドゴルフ、ソフトボール  
 5月12日(日)～10月27日(日) 市体育館他 参加者数 1,565人

(4) 第12回スポーツレクリエーション大会

ソフトバレーボール、ラージボール卓球、室内ペタンク、スポンジテニス、ターゲットバードゴルフ。  
 9月7日(土)、8日(日) 市体育館・情報大体育館 参加者数 227人

(5) 第19回市民ふれあい運動会

10月13日(日) 市陸上競技場 参加者数 約4,000名

(6) 平成25年度“宝くじスポーツフェア”ドリーム・ベースボール

10月20日(日) 市野球場 観覧者数 5,595名

(7) 第59回成人祭祝賀駅伝大会

1月12日(日) 小郡運動公園及び市内 参加者数 824人

(8) 小郡運動公園体育事業実行委員会実施事業(3者主催)

6月29日(土) 2013ウエスタン・リーグ公式戦(福岡ソフトバンクホークスVSオリックスバファローズ)

市野球場 観客動員数 3,722人

7月28日(日) ライジング福岡によるバスケットボールクリニック

立石小学校体育館 5チーム(61人)

11月17日(日) グリーンパークみんなであそぼう! 2013inおごおり

三国小学校体育館 親子33組(76人)

12月14日(土) 福岡ソフトバンクホークスによる野球教室

市野球場 12チーム(97人)

12月23日(祝) 福岡ソフトバンクホークス帆足和幸選手によるふれあい教室

市野球場 13チーム(83人)

3月16日(日) 2014サガン鳥栖サッカー教室inおごおり

市陸上競技場 7チーム(92人)

【施策額の内訳】

○報償費	1,783千円
○需要費	1,257千円
○委託料	451千円
○備品購入費	120千円
○負担金、補助金及び交付金	2,353千円

【施策の効果】

体力の向上、精神的なストレス発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進が図られ、青少年の健全育成、地域の連帯感がより一層深まった。また、小郡運動公園体育事業実行委員会新規事業として、サッカー教室を開催することで、子どもたちの活躍の場を広げることができた。

クロスロードスポーツレクリエーション運営費					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
675					675
<p>【施策の目的】 久留米・鳥栖・基山・小郡の市町民がスポーツを通して交流を図り、また、市民の健康増進と体力向上を図ることを目的とする。</p> <p>【施策の実施事業】 第23回クロスロード・スポーツレクリエーション祭 11月17日(日) みづま総合体育館他 小郡市参加者数 112人 他市町参加者数 375人</p> <p>【施策の効果】 ラージボール卓球、ソフトバレーボール、室内ペタンク、スポンジテニス、ターゲットバードゴルフの5種目のスポーツを楽しみふれあいの場となった。また、今回もオープン競技として、アジャタの競技普及を図れ、健康増進と体力向上に寄与できた。</p>					
小郡市体育館耐震補強等工事					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
55,121	18,136		33,200		3,785
<p>【施策の目的】 市体育館の耐震補強工事、アスベスト含有材除去を行うことにより、施設及び利用者の安全性確保を目的とする。</p> <p>【施策の実施】 耐震補強及びアスベスト含有材除去工事 53,391千円 体育館改修事業設計監理委託業務 3,710千円 (うち25年度支出額1,730千円)</p> <p>【施策の効果】 耐震補強工事及びアスベスト含有材の除去により、体育館の安全性が確保され、利用者が安全かつ安心して利用できる施設となった。</p>					
小郡地域運動広場グランド改修工事					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,118				7,701	5,417
<p>【施策の目的】 市道16号線の一部開通に伴い、隣接する小郡地域運動広場野球場バックネットの移設を行うことにより、ボールの飛び出しを防ぎ、通行車両、歩行者の安全性を確保するとともに、グランド内へ暗渠排水を埋め込むことにより水はけを良くし施設の利便性向上を図ることを目的とする。</p> <p>【施策の実施】 バックネット移設及び暗渠排水工事 13,118千円</p> <p>【施策の効果】 野球場バックネットの移設により、ボールの道路への飛び出しがなくなり、通行車両及び歩行者の安全性が確保された。</p>					
小郡市陸上競技場改修工事に伴う設計監理業務委託					スポーツ振興課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,888					3,888
<p>【施策の目的】 陸上競技場の2種公認検定を受けるための改修工事を実施するにあたり、工事の設計及び工事監理を行うことを目的とする。</p> <p>【施策の実施】 小郡市陸上競技場改修工事に伴う設計監理業務委託 6,480千円 (うち25年度支出額3,888千円)</p> <p>【施策の効果】 小郡市陸上競技場の2種公認検定を受けるための改修工事に伴う設計業務が実施された。</p>					

学校給食配給事業(学校給食センター管理費)					学校給食課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
56,005					56,005
【施策の目的】					
生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」な喜ばれる学校給食の提供に努める。					
【施策の実施】					
・市立小学校5校、児童数3,213名、中学校5校、生徒数1,981名、総数5,194名に対し、年間給食日数小学校187日、中学校190日、総給食数(職員含む)103万食の配給を行った。					
・安全で衛生的な給食を適時配給するため日本通運を始めとする11業者に委託し事故なく完了する。					
【施策額の内訳】					
・当該年度においては、休憩室エアコン等職場環境改善及び衛生環境基準に適用した調理器具などの購入を行なった。					
賃 金	臨時調理員			11,190 千円	
委託料	施設保全及び給食運搬等			15,409 千円	
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代他、調理器具等修繕			26,505 千円	
備品購入費	更衣室エアコン及び調理し移動台車等の購入			1,218 千円	
役務費	食品検査料及び検便検査料			1,073 千円	
共済費	臨時職員労災保険料			80 千円	
その他	負担金、補助金等			530 千円	
	合 計			56,005 千円	
【施策の効果】					
25年度においては、食中毒の発生含め衛生管理に注意し事故等起こさず「安全・安心」な学校給食の配食が出来た。また、地元野菜を使用する取組みを充実させ、学校、地域、家庭と連携を図り、給食を通じて、食育の啓発及び促進事業を実施した。					
学校給食配給事業(味坂小学校給食施設管理費)					学校給食課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,398					1,398
【施策の目的】					
生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」な喜ばれる学校給食の提供に努める。					
【施策の実施】					
・味坂小学校、児童数140名に対し、年間給食日数187日、総給食数約3万食の配給を行った。					
・安全で衛生的な給食を適時配給するため、殺鼠害虫駆除委託など、事故なく完了する。					
【施策額の内訳】					
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代、修繕料他消耗品			1,310 千円	
委託料	殺鼠害虫駆除委託			15 千円	
その他	手数料(細菌検査)負担金等			73 千円	
	合 計			1,398 千円	
【施策の効果】					
25年度においては、食中毒の発生含め事故等起こさず「安全・安心」な学校給食提供ができた。また、「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を生かした給食の提供を行った。					

学校給食配給事業(立石小学校給食施設管理費)					学校給食課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,766					2,766
【施策の目的】					
生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」な喜ばれる学校給食の提供に努める。					
【施策の実施】					
・立石小学校、児童数192名に対し、年間給食日数188日、総給食数3.9万食の配給を行った。					
・安全で衛生的な給食を適時配給するため、殺鼠害虫駆除委託など、事故なく完了する。					
【施策額の内訳】					
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、水道代、修繕料他消耗品			1,671 千円	
賃 金	臨時調理員			1,020 千円	
委託料	殺鼠害虫駆除委託			15 千円	
その他	手数料(細菌検査)			60 千円	
	合 計			2,766 千円	
【施策の効果】					
25年度においては、食中毒の発生含め事故等起こさず、「安全・安心」な学校給食提供ができた。また、地元農産物生産団体「アグリ」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を生かした給食の提供を行った。					
学校給食配給事業(御原小学校給食施設管理費)					学校給食課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,227					2,227
【施策の目的】					
生涯を通じて健康に過ごすための食生活について理解を深め、成長期にある児童生徒の健康の保持増進と体位の向上のため、栄養のバランスがとれた食事を提供する。また、郷土料理や地場産野菜を使用するなどの工夫を図り、「安全・安心」な喜ばれる学校給食の提供に努める。					
【施策の実施】					
・御原小学校、児童数126名に対し、年間給食日数188日、総給食数(職員含む)2.6万食の配給を行った。					
・安全で衛生的な給食を適時配給するため、殺鼠害虫駆除委託など、事故なく完了する。					
【施策額の内訳】					
需用費	衛生消毒用品、電気、ガス、上水道、下水道代、修繕料他消耗品			2,167 千円	
委託料	殺鼠害虫駆除委託			15 千円	
その他	手数料(細菌検査)負担金等			45 千円	
	合 計			2,227 千円	
【施策の効果】					
25年度においては、食中毒の発生含め事故等起こさず、「安全・安心」な学校給食提供ができた。また、「宝満の市」との連携によって、地産地消の促進も軌道に乗り、自校方式の利点を生かした給食の提供を行った。					